

# 須賀川市 内水 ハザード マップ



令和6年4月改訂

(R.5.29～防災気象情報変更)

## CONTENTS

- なぜ内水ハザードマップを作成したの？
- どういう条件で内水ハザードマップを作成したの？
- 内水氾濫の想定条件(想定最大規模)
- 内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について
- 警戒レベルの一覧表
- 命を守る最低限の行動を
- 浸水被害を防ぐために
- 非常持ち出し品や非常用備蓄品を準備しましょう
- 内水ハザードマップの活用

# 1 内水ハザードマップの目的について

## なぜ内水ハザードマップを作成したの？



近年、下水道や道路側溝・水路などの排水設備の能力を超える局地的な短時間の強雨(集中豪雨やゲリラ豪雨)や台風の大型化による大雨が多発しており、河川などへの円滑な排水が出来ず、内水氾濫による浸水被害が発生しています。市民のみなさまに、「内水氾濫による浸水」の正しい知識や避難方法などの情報を提供することにより、自分の命は自分で守る「自助」、地域で協力して助け合う「共助」など防災に対する意識の向上によって、浸水被害の軽減を目的としています。

### 集中豪雨に注意しよう

突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。



#### やや強い雨

1時間に10~20mmの雨  
地面からの跳ね返りで足元がぬれる。長く続く時は注意が必要。



#### 強い雨

1時間に20~30mmの雨  
傘をさしていてもぬれてしまうほどの土砂降り。側溝や下水などがあふれる。



#### 激しい雨

1時間に30~50mmの雨  
バケツをひっくり返したような雨。道路が川ようになる。



#### 非常に激しい雨

1時間に50~80mmの雨  
滝のような雨。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。



#### 猛烈な雨

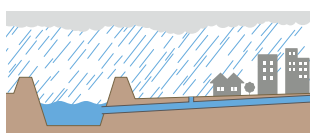
1時間に80mm以上の雨  
息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

## 2 内水と洪水の違いについて

### 内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地に降った雨は雨水ますへ。道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路などを通じて河川に排水されます。



#### 内水ハザードマップ

#### 内水氾濫の発生

大雨が降ると下水道や水路などで全ての雨水を排水できなくなり、内水による浸水が起こります。

内水氾濫とは、雨の量が下水道や水路などの排水能力を超えた時や、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。

## どういう条件で内水ハザードマップを作成したの？

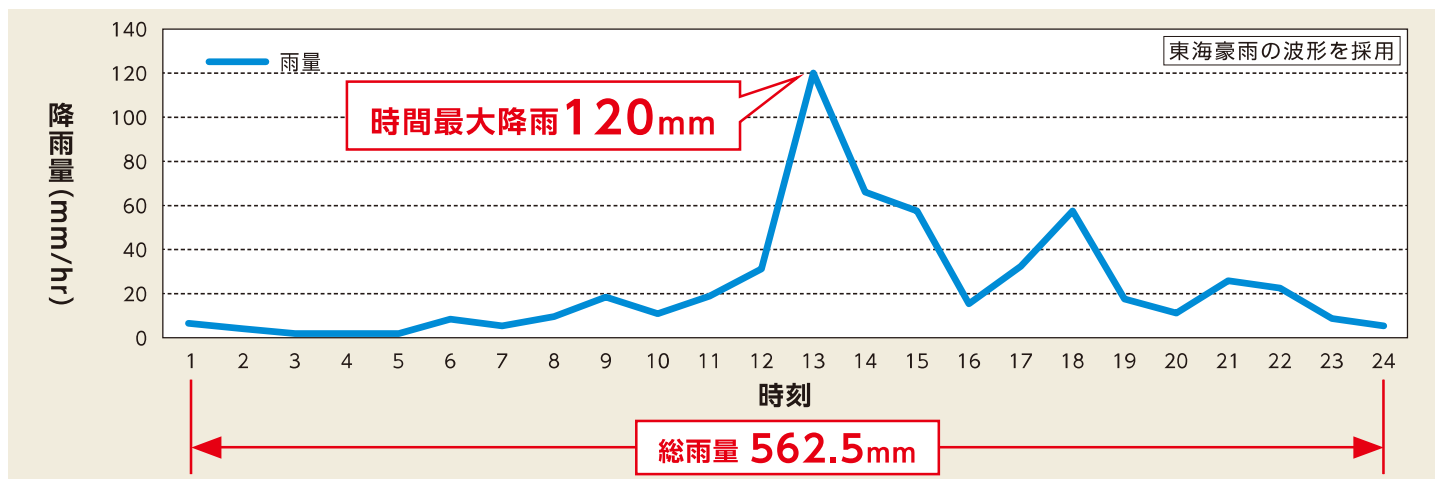


この内水ハザードマップは、水防法の規定に基づく想定し得る最大規模の降雨である**1時間あたり120mm/h**(24時間あたりの総雨量562.5mm)で浸水シミュレーションを行い、浸水の広がる範囲とその深さを想定した区域(浸水想定区域)を記載しています。また、**河川水位の上昇に伴い樋門を閉鎖し、内水を河川側へ排水するためのポンプを稼働する条件**としています。

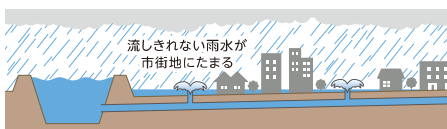
内水ハザードマップと洪水ハザードマップでは、想定している条件や浸水想定区域が違うことから**別々のマップ**になっているよ!**(両方のマップで浸水の危険性を確認しよう!)**



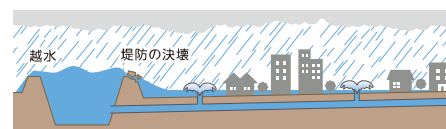
## 内水氾濫の想定条件(想定最大規模)



### イメージ図



洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など大規模な被害を引き起こします。



# 警戒レベルの一覧表

(R8.5.29～防災気象情報変更)

※ 情報の名称に「**レベル**」がつけました。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

※ 避難のタイミングは、「**レベルで判断**」しましょう。

時間推移のイメージ

数日～1日前

半日～数時間前

数時間～3時間前

2時間～0時間前

災害発生

**レベル1 早期注意情報**

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

**レベル2 注意報**

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

**レベル3 警報**

- ・避難に時間がかかる **高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

**レベル4 危険警報**

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

**レベル5 特別警報**

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

※大雨と洪水の注意報・警報に適用される発表基準や各雨量指数の基準値に関しては、気象庁HPをご確認ください。

## 防災情報の入手先

防災情報は、市やマスコミから伝達されるだけでなく、自分で入手できます。

「気象情報(気象警報など、津波警報など、土砂災害警戒情報、地震情報や過去の気象データなど)」

● 気象庁ホームページ…<http://www.jma.go.jp>

気象庁ホームページ

検索



「河川水位情報、道路情報など」

● 福島河川国道事務所

検索

<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>



● 福島県河川流域総合情報システム

検索

<http://kaseninf.pref.fukushima.jp/>



「須賀川市の防災情報など」

● 須賀川地方広域消防組合

検索

<http://www.sukagawa119.jp/>



● 地域コミュニティ FM

「ウルトラFM」 FM86.8MHz

# 命を守る最低限の行動を

水害からの避難は、**避難所などへの「水平避難」**か**階上への「垂直避難」**のいずれかが基本です。危険が切迫している場合は、指定された避難所への移動だけでなく、命を守る最低限の行動が必要な場合もあります。

- 避難経路の危険箇所がわかりにくい
- 大人のひざ(50cm以上)まで浸水している
- 浸水は20cm程度だが、水の流れが速い

このような状況で建物倒壊の危険が無いと判断される場合は、**自宅や近隣建物の2階以上へ緊急避難**し、救助を待つことも検討してください。

**緊急  
避難**



## 浸水被害を防ぐために

### 土のうなどで浸水対策



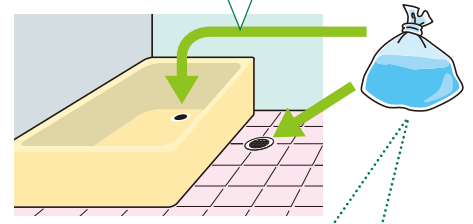
浸水深が浅いときは、**土のうやプランター、水を入れたポリタンク**などを使って、建物への浸水を防ぐことができます。

### 側溝・雨水ますの取水口の確認



ごみや落ち葉などが詰まると水が流れにくくなりますので、お近くの**側溝や雨水ますの清掃**にご協力をお願いいたします。

### 意外なところからの浸水も



ゴミ袋(45ℓ程度)を二重にし、中に半分くらい水を入れます

**お風呂や洗濯機、トイレなどの排水口**から逆流した水があふれる場合があります。**水のうで栓**をすることで防ぐことができます。

## 非常持ち出し品や非常用備蓄品を準備しましょう

- 災害が起こった場合、支援物資が行き渡らない場合があります。いざという時に備え、非常食などの備蓄や非常持ち出し品の準備をしましょう。
- 日常生活で消費しながら同時に備蓄ができるローリングストック法(備蓄品を日常生活で使い、使った分を買い足す)がおすすめです。



### 必需品

懐中電灯	携帯ラジオ+予備乾電池	水	非常食	タオル
貴重品	救急セット 常備薬、体温計など	衣類・下着類	ロープ	毛布

### 必要に応じて

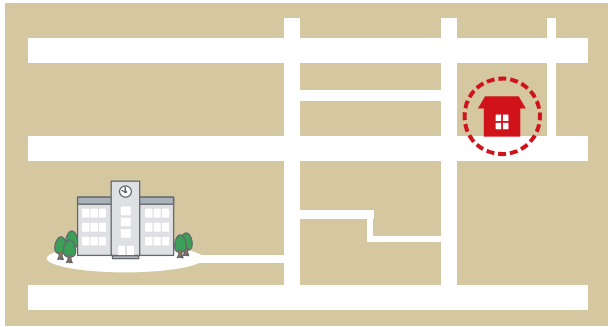
- チリ紙、ウェットティッシュ
- 子ども用ミルク、哺乳瓶、紙おむつ
- ヘルメット、防災ずきん
- 携帯ナイフ、はさみ、筆記用具
- 使い捨て食器類
- ドライシャンプー、石鹸
- 軍手、マスク
- レジャーシート、ビニール袋
- 生理用品
- 介護用品、持病薬
- 防寒着

# 内水ハザードマップの活用

ご自宅などが浸水するおそれがないか、この内水ハザードマップで確認しましょう。

また、避難指示(緊急)・避難勧告が発令されたときスムーズに避難できるように、避難場所の位置と避難経路を確認しておきましょう。

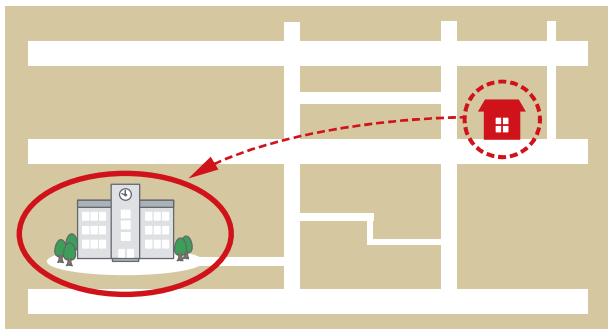
## 1 ご自宅などの位置に印をつけましょう



ご自宅などの位置に印をつけ、内水ハザードマップの「浸水の深さの目安」を参考に、周辺の浸水箇所や深さを確認して下さい。

なお、洪水・土砂災害ハザードマップをあわせて準備し、河川氾濫による浸水の危険性がある地域においては、洪水時における浸水状況についても確認しましょう。

## 2 自分たちの避難場所に印をつけましょう



内水氾濫は浸水深が浅いため、建物の2階以上へ避難しましょう。

ただし、より大きな雨が降り続いた場合には、河川の堤防の決壊や河川からあふれた水による氾濫が発生するおそれがあります。場合によっては、避難場所への避難が必要になりますので、自分たちの避難場所に印を付けて避難経路を設定しましょう。

## 3 実際に避難経路を歩いてみて安全か確認しましょう



設定した避難経路を実際に歩いて、避難にかかる時間や地図に掲載されていない地形(階段や地形変化など)を確認しましょう。また、できれば災害時を想定し、安全に気を付けながら歩いてみましょう。

歩く際も、浸水をイメージし、安全な避難が行えるように準備しましょう。

## 4 地域で協力して、より良い内水ハザードマップにしましょう



地域で災害や避難について話し合い、情報を共有しましょう。また、高齢者などの避難に支援が必要と思われる方(要配慮者)についても地域でできることを考え、皆さんの安全が確保できるようにしましょう。



# 防災関係機関一覧

須賀川市役所(災害対策本部)…0248-75-1111(代表)

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
長沼市民サービスセンター	0248-67-2111	公立岩瀬病院	0248-75-3111
岩瀬市民サービスセンター	0248-65-2111	独立行政法人国立病院機構 福島病院	0248-75-2131
須賀川地方広域消防本部(代表)	0248-76-3111	病院( )	
須賀川消防署	0248-76-3197	東北電力ネットワーク(株)	0120-175-366
須賀川消防署長沼分署	0248-67-3303	NTT東日本 固定電話から	113
火事の発生情報【テレホンサービス】	0248-76-8181	携帯電話から	0120-444-113
須賀川警察署	0248-75-2121	須賀川市水道お客様センター	0248-63-7111
休日夜間急病診療所	0248-76-2980		

## 非常用伝言ダイヤル(171)電話サービス

### 伝言の録音方法

171 1 0248 - 電話番号

市外局番

### 伝言の再生方法

171 2 0248 - 電話番号

市外局番

## 須賀川市の災害情報提供

### 防災行政無線音声ガイドサービス 0120-110-636

上記の番号に連絡すると、防災行政無線で放送された直近の内容を確認することができます。

#### ■ 須賀川市公式ホームページ

<https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/>

須賀川市 ホームページ

検索

●QRコードをご利用下さい▶



#### ■ 須賀川市公式LINE情報配信サービス

●IDで検索 @sukagawacity

●QRコードで追加▶

お友達登録をお願いします



#### ■ 防災すかがわX

●IDで検索 @bousai\_sukagawa

●QRコードをご利用下さい▶



発行

須賀川市上下水道部下水道施設課 〒962-8601 須賀川市八幡町135番地  
TEL.0248-75-1111(代表) FAX.0248-72-7983



<https://www.sukagawa-jyogesuidoijigyo.jp/>

●QRコードをご利用下さい

令和6年4月